



NEWSLETTER

男女共同参画の
推進に向けて

名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室

ニュースレター

Vol.3

発行

名古屋市立大学男女共同参画室・女性研究者支援室 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
TEL:052-853-8577/FAX:052-853-8588/E-MAIL:sankaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
URL:http://www.nagoya-cu.ac.jp/sankaku/

DECLARATION

名古屋市立大学男女共同参画宣言

2012年3月16日(金)、名古屋市立大学病院病棟・中央診療棟3階大ホールにおいて、名古屋市立大学男女共同参画フォーラム「多様性のあるゆたかな社会をめざして一大学で男女共同参画を考える」が開催されました。開会の挨拶で戸辺学長が、全国の中でも本学は男女共同参画に大変興味を持って推進している大学の一つであると述べた上で、名古屋市立大学男女共同参画宣言を発表しました。また本フォーラムを、本学の近未来にあるべき姿を共に考える一日にしたいと述べました。



名古屋市立大学男女共同参画宣言

男女共同参画社会基本法は、男女共同参画社会の実現を21世紀の最重要課題と位置づけている。「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現」という法の精神は、知の創造と継承を理念として、真理の探求とそれに基づく教育により、社会文化の向上と人類福祉の増進に寄与する名古屋市立大学の運営の基盤ともなるものである。

名古屋市立大学のすべての構成員は、性差別に対する鋭敏な感覚と個性を尊重する意識を備え、「だれもがいきいきと活躍できる多様性のあるゆたかな大学」づくりを推進する。

また、名古屋市立大学は、研究・教育・就業と家庭生活の両立のための環境を整備するとともに、女性の採用・登用を促進し、ジェンダーや人権問題に関する研究・教育の成果を広く地域社会や国際社会に還元することにより、男女共同参画社会の実現に寄与していく。

名古屋市立大学は、男女共同参画社会基本法の精神に則り、男女共同参画を積極的に推進し、男女共同参画社会の実現に向けた主導的役割を果たす大学として社会の発展に貢献していくことをここに宣言する。

平成24年3月16日

名古屋市立大学 学長 戸辺 創

LECTURE

教養教育科目「特色科目13 男女共同参画社会をめざして」第1回授業報告

平成24年4月より、男女共同参画室のプロデュースする教養教育科目が始まりました。第1回目の授業では、男女共同参画室の室員ひとりひとりが、大学で男女共同参画を推進する意義を、それぞれの専門の立場から熱く語りました。第1回の授業を聴講した受講生の多くは、どの室員の話も興味深く今後の授業が楽しみだと感想を書いていました。

今年度初めて開講された授業であったため、履修できる学生は新1年生に限られました。またこの講義は、平成24年度の愛知学長懇話会の単位互換事業における講義に指定されており、愛知県内の他大学に所属する学生も聴講可能となっています。本授業の開講は、名市大から男女共同参画に対する意識の高い人材を送り出すことができる第一歩となりました。



部局長セミナー



本学では今年度前期中に、部局ごとに男女共同参画に関する目標・行動計画の策定を予定しています。その策定に向け、4月16日(月)、独立行政法人科学技術振興機構・科学技術システム改革事業プログラム主管の山村康子氏を招き、部局長を対象に、大学における

女性研究者支援の意義について解説するセミナーを開催しました。

当日は女性研究者支援・育成の取組みに関する山村氏の講演の後、出席した19名の部局長との間で質疑応答が行われ、活発な議論が繰り広げられました。今後の各部局での取り組みに向け、各々部局長における男女共同参画・女性研究者支援についての認識が深まりました。

2012年5月現在、本学の女性教員比率(専任)は19.8%です。

2012年度第1回女性研究者ランチミーティング



4月25日(水)、桜山キャンパス西棟2階看護学部演習室Aで、今年度初めてのランチミーティングを開催しました。当日は他キャンパスを含む5研究科から15名の学生・教員が参加し、途中笑いも生じる和やかな雰囲気ではなりました。

北川室長からの話題提供もあり、今回はさくらんぼ保育所(学内保育所)の話が中心に。参加者のうち、さくらんぼ保育所に子どもを預けている女性は3名。さくらんぼ保育所の対象は現在2歳児までであり、3歳になるときにどうするのか、切実な悩みが語られていました。学内保育所に子どもを預けることができてもまたすぐに次の保育所探しに奔走する様子を聞き、本学の子育て支援体制にはまだまだ課題が多いと痛感しています。

EVENT

女子学生・女性教員交流会

大学の先生って何をしているの? 研究と家庭の両立って大変? 大学院に進学したいけどどうしたらいい? 女性だからこそその苦労ってある? 女子学生のみなさん、先生方に聞いてみませんか? 普段授業の場では聞きにくいこともきっと聞けるはず。研究者を目指す仲間も見つかるかもしれません。ぜひご参加ください。

【日時】 6月25日(月) 16時30分～18時00分(途中参加・途中退場可能)

【場所】 滝子キャンパス 1号館(人文社会学部棟) 711教室

【対象】 本学の女子学生・女性教員 20名程度

※滝子キャンパス以外からの参加も歓迎です ※軽食あり
※参加希望の方は、6月22日(金)までに女性研究者支援室へご連絡ください。

INFORMATION

お知らせ

人材バンク登録のご案内

女性研究者支援室では、女性研究者の研究活動を支援するために必要な人材の情報を収集し、研究支援を希望する研究者に情報を提供することを目的に、人材バンクを設置しています。人材バンクに登録すると、女性研究者の研究を支援する研究支援員の候補者となります。条件が整えば、女性研究者の支援員として派遣されます。研究者に身近に触れることで、支援員自身のキャリアにも役立つ制度です。興味のある方はぜひご登録ください。

詳しくはHPをご覧ください。

大学
トップ

男女
共同参画

研究
支援

ベビーシッタークーポン制度

仕事と子育ての両立支援として、ベビーシッタークーポン制度を導入しています。詳しくは総務課人事係までお問い合わせください。

総務課人事係 ☎853-8062

【男女共同参画室】

【室長】北川 眞理子(看護学部教授)
【副室長】黒野 智恵子(医学研究科助教)
【室員】山本 陽子(経済学研究科准教授)
【室員】菅原 真(人間文化研究科准教授)
【室員】小川 淳平(経済学研究科准教授)

【女性研究者支援室】

【室長】北川 眞理子(看護学部教授)
【室員】黒野 智恵子(医学研究科助教)
【室員】菊池 千草(薬学研究科講師)
【室員】木谷 名都子(経済学研究科准教授)
【室員】山田 美香(人間文化研究科教授)
【室員】藤井 尚子(芸術工学研究科准教授)
【室員】堀田 法子(看護学部教授)
【室員】鎌田 直子(システム自然科学研究科教授)
【室員】佐藤 洋子(女性研究者支援室特任助教)
【室員】新ヶ江 章友(男女共同参画室プロジェクト推進員)